

5 畜 産

項 目	作 業 内 容
<p>(1) 積雪の被害防止</p> <p>(2) 飲水の凍結対策</p> <p>(3) 良質たい肥の製造</p>	<p>(今月の作業のポイント)</p> <p>積雪・凍結被害防止 良質たい肥の製造 口蹄疫対策</p> <p>この時期は雪が降りやすく、山沿いを中心に積雪が予想される。</p> <p>老朽化した畜舎やビニールハウスを利用した畜舎・糞尿処理施設等では、積雪の被害を受けることがあるので、はりの継ぎ手の部分や柱の接合部につなぎ材をそえて補強し、屋根は内側から柱で支える。</p> <p>さらに、補強の柱が地面にめり込まないように、板を敷いて沈下防止をする。また、積雪の多い場合は、適宜、屋根の除雪を行う。</p> <p>水が凍結して飲水できない状態が生じると、餌食いが悪くなり、発育や生産性が低下する。凍結が予想される場合は、流量を多めにして防止対策を行う。低温時にはそれでも凍結することがあるため、早朝から見回り、凍結している場合は除去する。</p> <p>冬期は耕種農家のたい肥の需要が増加する時期であるため、良質たい肥の製造に努める。</p> <p>良質たい肥の製造には、堆積前の適正な水分（比重）調整や頻繁な切り返しが重要であり、発酵が進みにくい時はこれらを見直す必要がある（写真1）。</p> <div data-bbox="651 1581 1201 1942" data-label="Image"> </div> <p>写真1 ショベルによるたい肥の切り返し</p>

項目	作業内容
<p>(4) 口蹄疫対策</p>	<p>中国湖北省において、豚で臨床症状を伴う口蹄疫が平成 23 年 12 月 27 日に発生した。その発生状況からも、中国においては本病ウイルスが常在しており、しばらく発生報告がない地域においても本病ウイルスが存在している可能性がある。</p> <p>牛、豚、羊、山羊など口蹄疫に感受性のある家畜を飼養している場合は、下記のとおり飼養衛生管理基準を守り、口蹄疫の侵入防止をする。</p> <p>ア 家畜保健衛生所から提供される家畜衛生に関する情報を必ず確認する。</p> <p>イ 口蹄疫の発生国への不要不急の渡航は自粛する。</p> <p>ウ 渡航する場合でも、現地では畜産関係施設には立ち入らず、帰国後は、海外で使用した衣服・靴を消毒し、農場に持ち込まないようにする。</p> <p style="text-align: center;">中国における口蹄疫の発生状況(2009年1月以降)</p> <p style="text-align: right;">2012年1月10日現在</p> <p style="text-align: right;">※出典: OIEほか</p> <p style="text-align: right;">※日付は発生日 ※()に型名表示のないものはすべてAsia1型</p> <p style="text-align: right;">農林水産省 HP より</p>

(作成 畜産研究センター)